

## 平成31年所信

昨年は、全国的に大きな災害がありましたが、幸いにして、別府市に大きな災害はありませんでした。しかし、1月3日に、熊本を中心に最大震度6弱の大きな地震が発生しました。平成28年の熊本地震の際には、大きな前震の2日後、4月16日に別府市観測史上最大、震度6弱の本震発生となりました。この数日間は、特に、大きな余震に備えなければなりません。

皆様方には、避難経路や避難場所、ご家族の連絡方法など、今一度ご確認いただき、まずは自分の身を守り、お互いに助け合うという自助・共助の備えをお願いいたします。公助としての部分は、市がしっかり対応ができるよう万全の体制を整えてまいります。

観光面においては、平成22年に新たな統計方法に変更して以降、平成29年は最大となる880万人以上のお客様をお迎えすることができ、また、外国人観光客数も最多を更新しました。平成28年の震災から、官民一丸となって別府の誇りの再生に取り組み、元気な別府を発信してきた結果だと思えます。

今年は、いよいよラグビーワールドカップが開催されます。商工会議所をはじめ、経済団体、ラグビー協会、関係者皆様のご尽力のもと、全市体制で臨んだキャンプ誘致により、ニュージーランドをはじめとする強豪国のキャンプが別府で行われます。

別府市が世界に向けて発信するラグビーワールドカップ用の動画も完成しました。市のホームページやYouTubeで配信していますので、是非ご覧いただきたいと存じます。

また、世界規模の5つ星ホテルであるインターコンチネンタルホテルの開業も予定されています。

今、世界が別府に注目しています。特に、今まで別府に来たことがない富裕層の皆さんが来られることが期待されます。世界中からお客様が集まるこのチャンスを捉え、新しいアクティビティなど、付加価値の高い観光商品を提供することにより「稼げる別府」を実現し、より戦略的な観光施策を実践し、別府を「世界の別府」へと推し進めてまいります。

今ある宝、竹産業を発展させることや、新しい地場製品の開発、創業支援などの取り組みも加速させます。基幹産業である観光はもちろん、様々な人たちが関わりあって、別府の商品やサービスが生まれ、磨かれていくことで、これまで以上に価値の高い観光都市となることを目指します。

また、別府で育ち、別府で学んだ多くの若い人たちが、「未来の別府をつくる一人になりたい」「別府で夢を実現したい」と思えるまちづくりを推進してまいります。

現在、別府市内には、5つの大学、研究機関があり、多くの日本人学生と留学生が勉学に

励んでいます。しかし、その多くの学生が、市外・県外・国外で就職をしています。

この世界中の卒業生たちに広く呼びかけ、本年3月23日に「別府市学生大同窓会」を開催します。卒業生の皆さんには、これを機会に里帰りをしていただき、離れて感じる別府の魅力や課題について、大いに語り合ってください、別府への思いを深めていただく事で、新たな起業、創業、まちづくりへ発展することを期待しています。

この学生大同窓会は、これからの別府にとって無限の可能性を秘めたイベントに成長します。別府らしい、尖った企画を考えていますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

市民生活に密着した課題の解決にも、積極的に取り組んでまいります。

長い間の懸案でありました旧南小学校跡地活用事業が、いよいよ具体的に動き出しました。本年3月までに、事業者を選定し、2021年4月の施設の供用開始を目指して取り組みます。

図書館・美術館の整備につきましても最重要課題の一つです。

本来の機能の維持はもちろんですが、本市ならではの付加価値をもった、新しい公共空間として、50年先の子ども達にも残せる宝を創りたいと考えています。この新図書館建設の候補地選定に当たっては、速やかに計画に着手でき、かつ一定程度の面積を有することを基準に市有地の中から4か所を選定し、検討委員会の意見をふまえ決定しました。

以上の手順により決定した建設予定地は、別府公園文化ゾーンです。具体的に申し上げますと、市役所西側駐車場に隣接する市有地を中心に、別府公園の素晴らしい景観と自然を出来るだけ生かした形で建設いたします。

今後のスケジュールにつきましては、本年2月末までに整備構想策定を完了し、年度内にはランドデザインとしての規模や機能等についてお知らせできる見込みです。これに基づき平成31年度以降、基本計画、設計、施工となります。

各手順における実施年度等のスケジュールについては、現時点では未確定ですが、可能な限り早急に目処をつけていきたいと考えています。

これから徐々に決まっていますが、新しい図書館・美術館は、別府公園との親和性を生かし、別府ならではの誰もが集いたくなる機能を持った新しい公共空間となります。

公共施設の再編計画も進めていかなければなりません。

用途別に統廃合、集約、複合化が避けられないものにつきましても、市民サービスの低下を招かぬよう、丁寧に説明を行い、思い切った決断をしながら進めてまいります。

観光業やまちづくりなど幅広い分野の皆さんに議論していただき、新たな財源として導入しました入湯税超過課税についても、本年4月1日に施行されます。入湯税につきましては全国的に注目を集めており、その運用に当たっては使途の透明性を高め、観光客に喜ばれ、

最終的に市民に喜ばれるものになりたいと考えています。

その他にも、子ども達が安心して楽しく過ごせる教育環境の整備については、すでに別府市では、公立の幼稚園・小学校・中学校全てにエアコン設置が完了しておりますが、これからも放課後児童クラブの充実等、きめ細やかに取り組んでまいります。

また、別府になくてはならない温泉資源の確保、防災体制の確立、健康寿命の延伸、市民の安全・安心に繋がる取り組みなど、課題は多岐にわたります。

これら重要課題の解決や施策の実現には、行政だけではできることに限りがあり、皆様との協働・結束が必須です。

「全ての施策の目的は市民の皆様の幸せのため」ということを共有させていただきながら、持続可能な別府市の発展に向け取り組んでまいります。

本年で平成も最後となり、5月からは新しい御世を迎えます。まさに時代の節目、変化の年であり、新たな時代の幕開けであります。

これからも謙虚に、ひたむきに努力を重ねてまいります。旧に倍します、ご指導を賜りますよう、宜しく願いいたします。